

ドラマのロケ地にも使用！

名古屋のノスタルジックな建物

令和6年6月22日（土）～9月19日（木）

名古屋には明治～昭和初期を象徴する名建築が数多く存在しています。
こうした建築物は、現在放送中の連続テレビ小説「虎に翼」のロケ地となるなど、
多くのドラマや映画にも登場します。

今回の展示では、これらの建築物を図書館の資料を使って紹介することで、
市民の方に歴史ある名古屋をより一層好きになってもらうことをねらいとしています。



旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所（現 名古屋市市政資料館）

名古屋市東区白壁一丁目3番地



もともと裁判所として
使われていた建物です。
「虎に翼」でも、東京地方
裁判所としてたびたび登
場の主人公のモデルとなっ
た三淵嘉子さんも、実際
に裁判官としてここで働
いていました。

1922年（大正11年）に名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎として建てられました。赤い煉瓦と花崗岩を重ねた1階と、煉瓦に白い柱を通した2・3階からなり、全体として赤と白のコントラストが美しいネオ・バロック様式の建物です。完成の翌年におきた関東大震災で多くの煉瓦建築物が倒壊し、以後大きな煉瓦建築物が作られることはなくなりました。そのため、この規模の煉瓦建築物としては最後の建物でもあります。

1979年（昭和54年）までは実際に裁判所として使用していました。ちなみに控訴院とは、現在の高等裁判所のこと。旧憲法下で全国に8か所設置されましたが、本建物が現存する最古の庁舎です。現在は名古屋市の公文書館「名古屋市市政資料館」として使用されています。



1878 年（明治 11 年）に建設された木造 2 階建ての名古屋裁判所です。

旧名古屋控訴院庁舎（現名古屋市市政資料館）は、この 2 代目として建てられました。

「名古屋裁判所」名古屋の絵葉書集（なごやコレクション）



1930 年（昭和 5 年）に発行された絵葉書です。この後の戦争でも焼け残りしました！

「名古屋の裁判所本館」名古屋の絵葉書集（なごやコレクション）

今も昔も美しい…

中をのぞくと…

左右対称で重厚感のある中央階段です。



陪審裁判が行われていた時代の陪審法廷です。向って右側に陪審員席があります。

「陪審法廷」名古屋の絵葉書集（なごやコレクション）

階段踊り場正面には、公平な裁判を意味する「天秤」のステンドグラスがあります。



はて？

陪審員制度とは？

国民が司法に参加する制度の一つ。抽選で選ばれた 12 人の陪審員が素人の立場で審理に参加し、犯罪事実の有無を答申します。1928 年（昭和 3 年）～ 1943 年（昭和 18 年）まで行われました。

はて？

三淵嘉子さんってどんな人？

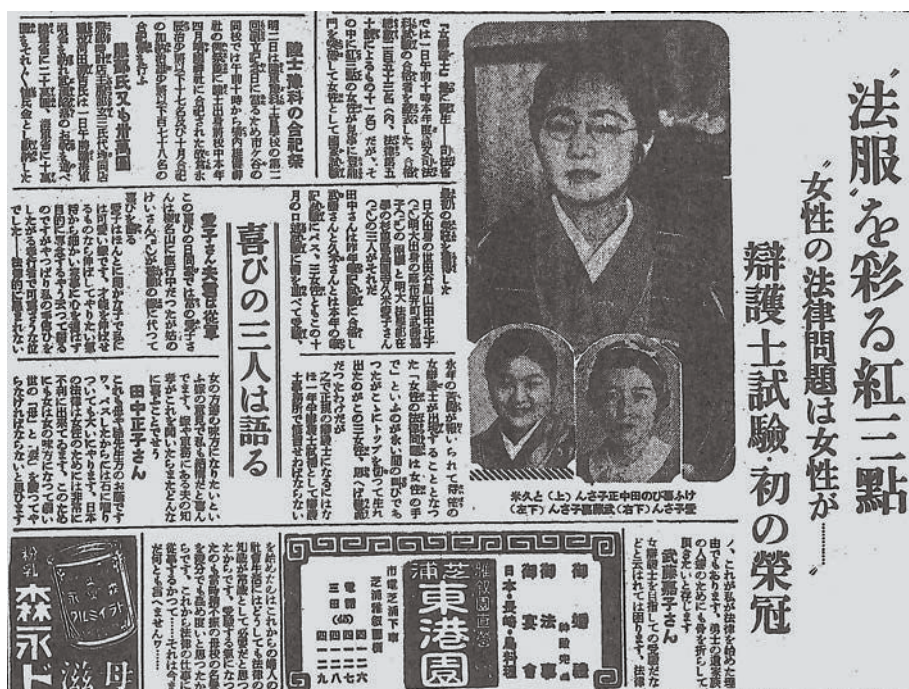
「虎に翼」のモデルでもあり、名古屋地方裁判所でも働いていた三淵嘉子さんとは、
いったいどんな方だったのでしょうか？



1914 年（大正 3 年）、台湾銀行に勤める武藤貞雄の長女としてシンガポールで誕生。父は当時では進歩的な考えの持ち主で、女性が職業を持ち自立する事を考えており、嘉子に「医者や弁護士などを目指すのはどうか」と提案しています。

1932 年（昭和 7 年）に明治大学専門部女子部法科入学、その後明治大学法学部に編入し 1938（昭和 13 年）年に卒業した後、高等文官試験司法科（司法試験の前身）に合格して日本初の女性弁護士のひとりとなりました。

1949 年（昭和 24 年）に東京地裁の判事補に任用され、1952 年（昭和 27 年）には名古屋地裁に赴任し、名古屋では初の女性裁判官に。さらに 1972（昭和 47 年）年には新潟家庭裁判所で女性初の裁判所長となります。その後は浦和家庭裁判所・横浜家庭裁判所の所長を歴任し、1979 年（昭和 54 年）に定年で退官。退官後は弁護士として活躍するかたわら、法制審議会民法部会委員、日本婦人法律家協会会長などの要職を務め、69 歳で亡くなりました。



「女性弁護士
ついに誕生！」
三淵嘉子（当時は
武藤嘉子）ら 3 人が
女性として初めて
司法科試験に合格し
た時の新聞記事です。

鶴舞公園の噴水塔

名古屋市昭和区鶴舞一丁目（鶴舞公園内）

この噴水塔は1910年（明治43年）に鶴舞公園で行われた第10回関西府県連合共進会にあわせて正門前につくられました。設計は名古屋高等工業学校（現・名古屋工業大学）建築科教授の鈴木禎次。大きな正門に釣り合うように高さは10.2m、幅は43.2mもあります。ローマ様式の噴水塔はその完成度が高く、列柱はドリス式を用い、水は最上部まで揚げて、8本の突起部から自然に落水させています。1973年（昭和48年3月）、地下鉄3号線（鶴舞線）建設工事の際に一時解体されましたが、地下鉄工事終了後の1977年（昭和52年）3月に原型復旧されました。



鶴舞公園のシンボルでもある噴水塔の「虎に翼」にもたびたび登場します。戦後のシーンでは、塔の先端がぼっきり折れていました！

1910年（明治43年）に発行された絵はがきです。

噴水塔を設計した鈴木禎次は、夏目漱石の相婿（妻同士が姉妹）でもありました。

左の絵葉書とまったく同じのものはありませんが、名古屋に遊びに来た漱石の4女（愛子）も、噴水塔の絵葉書を漱石に送っています。



「第十回関西府県連合共進会噴水塔」名古屋の絵葉書集（なごやコレクション）



はて？

第10回関西府県連合共進会とは？

関西府県連合共進会は、1883年（明治16年）以降、西日本の各地で開催された大規模博覧会です。その10回目が、鶴舞公園を会場に開催されました。期間は1910年（明治43年）3月16日～6月13日の90日間。関西府県連合共進会という名称ですが、参加は北海道・東北地方の県を除く3府28県にも及び、台湾（当時は日本統治下）からも出品されました。入場者数は約263万人（当時の名古屋の人口は41万人）でした。会場までの道路や交通機関も整備され、名古屋の産業界を急速に発展させる原動力にもなりました。



『名古屋案内』（大正14年）

当時の名古屋のガイドブック。

この中で鶴舞公園噴水塔が以下のように紹介されています。

昔の名古屋も暑かった！

「園内(えんない)花崗岩(みかげいし)を以て造れる高さ二丈餘の噴水塔あり。清々粛々として噴出する水に、月光青白く反射するを眺むる時、夏季晝間(ゆうかん)の炎熱も一時に忘るを得べく、涼味誠に掬(きく)すべし。」

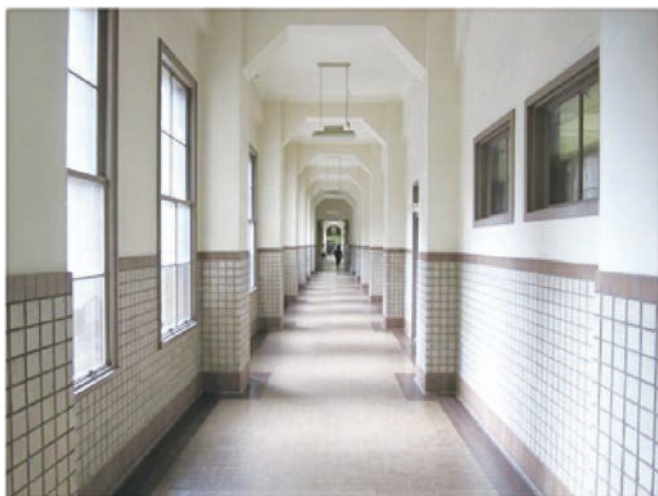
名古屋市役所

名古屋市中区三の丸三丁目1番1号



現在の名古屋市役所本庁舎は3代目です。1933年（昭和8年9月6日）に竣工しました。建築設計図面は公募し、応募者599案から西春日井郡豊山村（現在の豊山町）出身の平林金吾の案が採用されました。

鉄筋コンクリート造の様式建築に和風屋根を持つ建物のデザインは当時流行ったデザインで、帝冠様式と呼ばれます。中央の時計塔と二層の屋根の頂上にいる八方にらみの鯉が特徴です。名古屋城と調和する意匠となっています。



名古屋市役所本庁舎の北側の長い廊下。全長約100mもある長い廊下は珍しく、映画やドラマの撮影でも使われる人気スポットです。「虎に翼」では明律大学の廊下として登場しました。

はて？

市役所が黒塗りになった理由とは？

はて？



写真：国立国会図書館デジタルコレクション「モージャー氏撮影写真資料」（名古屋市役所愛知県庁）

終戦後に GHQ のスタッフが撮影した愛知県庁（手前）と名古屋市役所（奥）の写真です。写真を見て何か違和感を感じませんか？

そう、建物が黒く塗られているのです。戦時中に空爆を避けるため、建物にはコールタールによる迷彩がほどこされていました。



写真：『名古屋市會史 第10巻』名古屋市会事務局／〔編〕名古屋市会事務局

建物にコールタールを塗っている写真です。塗っているのは名古屋市の職員でしょうか。

幸いにも建物は焼失を免れ、コールタールは、1953年（昭和27年）年に洗い落とされました。しかし現在もところどころに黒い色が残っています。



今回紹介した建物をはじめ名古屋には歴史的に価値のある建物がたくさんあります。こうした建物を普段は何気なく目にしていますが、実は郷土の歴史やそこから得られる教訓を私たちに教えてくれる大切な存在でもあります。暮らしやすい社会を作っていくために、こうした建物を保存し、後世に伝えていくことはとても大切なことです。名古屋市図書館では今後も、建物を始め郷土に関する情報を図書館資料を通して市民の皆さまにお伝えしていきます。

【展示資料】

①旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所（現 名古屋市市政資料館）

「名古屋の裁判所本館」名古屋の絵葉書集（なごやコレクション）

「名古屋裁判所」名古屋市史資料写真集（なごやコレクション）

「陪審法廷」名古屋の絵葉書集（なごやコレクション）

②噴水塔

「第十回関西府県連合共進会噴水塔」名古屋の絵葉書集（なごやコレクション）

「第10回関西府県連合共進会全図」名古屋用達

『名古屋案内』 長尾盛之助／著 長尾盛之助

③名古屋市役所

写真「名古屋市役所愛知県庁」モージャー氏撮影写真資料 国立国会図書館デジタルコレクション

写真『名古屋市會史 第10巻』名古屋市会事務局／[編]

名古屋市会事務局

【参考文献】

『街の歴史建築を訪ねて 愛知・名古屋を彩った近代洋風建築』瀬口哲夫／著 ぐん BOOKS

『東海の近代建築』日本建築学会東海支部／編 中日新聞本社

『日本の最も美しい赤レンガの名建築』歴史的建物研究会／著 エクスナレッジ

『日本列島西洋館の旅』中村哲夫／著 コウサイクリエイツ

『漱石の愛した絵はがき』中島国彦／編 岩波書店

『近代を歩く いまも息づく東海の建築・土木遺産』東海近代遺産研究会／編著 ひくまの出版

『一米国人の見た戦後の名古屋 名古屋郷土文化会創立70周年記念写真集』

名古屋郷土文化会／編集 名古屋郷土文化会

『国登録有形文化財名古屋市役所本庁舎現況調査報告書』

平成24年3月 平成26年8月改訂』名古屋市

『昭和史 別巻2』 毎日新聞社

『名古屋市會史 第10巻』名古屋市会事務局／[編] 名古屋市会事務局

・名古屋市 HP

・『ふらら 2009年 Vol.4 特集：鶴舞公園100周年』名古屋市みどりの協会